

# かしの木

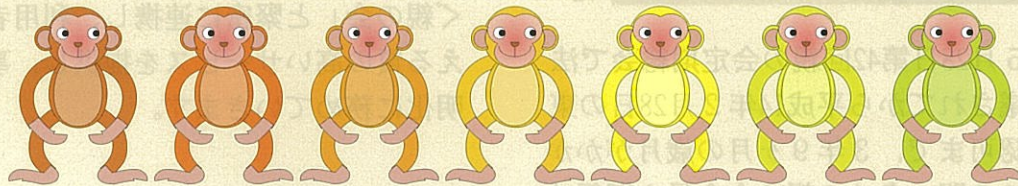
創刊号

2004.1.1

社会福祉法人 **せたがや櫛の木会**

〒155-0033 東京都世田谷区代田1-29-5 TEL 03-5481-1010 FAX 03-5787-4051

明けましておめでとうございます



## 創刊号発行にあたり

理事長 **鈴木 昭雄**

「せたがや櫛の木会」は、今年で2度目のお正月を迎えました。おかげさまで、事業も順調な歩みを続けています。

「千歳台福祉園」と「下馬福祉工房」は、来年度から本来の利用者定員による本格稼働に入る予定です。利用者の支援・指導に当たる若い職員も着実に力をつけてきました。

「ヘルパーステーション櫛の木」のホームヘルプ事業も、自主事業への切り替えを契機として、利用者の障害種別など事業対象の拡大を図ってきました。それに対応するための職員体制の強化が目下の急務です。

これから取り組むべき重要課題も数多くあります。例えば、ホームヘルプ・グループホームなどの居宅生活を支援するサービスの充実、通所施設で日中活動を支援する施設サービス（更生・授産）の拡大、ケアマネジメント手法の活用などによる総合的な支援サービスの着手、さらには、成年後見制度への参画や入所施設の区内設置の検討など、いずれも親なき後対策にも繋がる重要かつ困難な課題ばかりです。

世田谷区にすむ知的障害者のための生活支援を使命とする地域法人として、これらの課題に中・長期的な観点から真摯に取り組むことにより‘特別なOnly one’（世界に一つだけの花）の法人を目指すよう、役・職員一同は決意を新たにしているところです。





遺贈された現在の事務所（平成15年12月）  
玄関前の櫛の木にイルミネーションが輝きました

## (社福) せたがや櫛の木会のあゆみ

（平成14年度の法人理事会で検討・討議）

### 《基本理念》

社会福祉法人せたがや櫛の木会は

1. 利用者の人権を尊重し、利用者との信頼関係を構築する。
2. 利用者の主体性を尊重しながら、利用者の自立生活と社会参加を支援する。
3. 利用者が地域社会の構成員である事を認識し、利用者の支援を通して地域福祉の推進に寄与していく。

事業経営にあたっては、「世田谷区手をつなぐ親の会」と緊密に連携し、利用者の期待を超える質の高いサービスを提供し、事業経営の透明化に務めていきます。

平成10年5月28日第42回親の会定期総会で法人設立が決議されてから平成14年2月28日の東京都の設立認可まで、3年9ヶ月の歳月がかかりました。この間、多くの親の会会員や御親戚・友人の方々等から設立資金にご協力いただき、現在の「せたがや櫛の木会」があります。

設立当初は世田谷区役所の近くに10畳程度事務所を借り、ガイドヘルパー派遣事業と本部職員が全員集まると室温が1人当たり1度上昇する程小さな事務所でした。手をつなぐ親の会に以前より関係の深かった脇坂喜代子様から遺贈を受けた現在の事務所に平成15年3月移転。世田谷区内の知的障害者の自立生活を営む為の事業に使用することというご遺志に従い、平成15年4月から居宅支援事業を展開しています。

「せたがや櫛の木会」の現在の事業は次の通りです。（社会福祉法人せたがや櫛の木会 定款第一条より）

- (1) 第一種社会福祉事業
  - (イ) 世田谷区立千歳台福祉園の受託経営
  - (ロ) 世田谷区立下馬福祉工房の受託経営
- (2) 第二種社会福祉事業
  - (イ) 知的障害者居宅介護等事業
  - (ロ) 児童居宅介護等事業
  - (ハ) 身体居宅介護等事業  
(ヘルパーステーション櫛の木)

### 社会福祉法人せたがや櫛の木会役員

（平成16年1月1日現在）

理事長	鈴木 昭雄	(親の会会長)
理事	大南 英明	(帝京大学教授)
理事	上原 明子	(親の会副会長)
理事	内田 修	(都育成会常務理事)
理事	神宮 寿夫	(祖師谷地区町会自治会連合会会長)
理事	小島 幸久	(千歳台福祉園施設長)
理事	村瀬 精二	(下馬福祉工房施設長)
(上記理事は評議員を兼務)		

監事	饗場 節夫	(税理士、行政書士)
監事	金丸 哲也	(民生委員、税理士)
監事	若林謙一郎	(世田谷区保健福祉部長)

評議員	菊地 育三	(東海大学講師)
評議員	小林 良廣	(親の会副会長)
評議員	佐藤 勝	(世田谷区社会福祉事業団副理事長)
評議員	寺崎 勝成	(調布市社会福祉事業団常務理事)
評議員	古田 喜子	(知的障害者相談員)
評議員	堀 卓郎	(下馬地区民生・児童委員協議会会長)
評議員	百瀬 和男	(学校法人理事長)
評議員	山本ゆきえ	(白梅福祉作業所副所長)



# ヘルパーステーション 榎の木

利用者の皆さん こんにちは  
いつも ガイドヘルプ ホームヘルプを  
ご利用いただきありがとうございます。

いつでも どこでも 榎の木会は  
♪♪あなたの味方♪♪  
あんなこと、こんなこと、どうなっているの？  
どんなことでもまずは  
ヘルパーステーションにご連絡を！！

開設：平成15年4月

所在地：〒155-0033 世田谷区代田1-29-5

TEL 03-5787-4050

FAX 03-5787-4051

事業内容：知的・身体・児童を対象とする  
居宅介護等事業  
(ガイドヘルプ、ホームヘルプ)



ヘルパーステーション榎の木では、去る12月23日(祝)に、クリスマス会を実施しました。歌あり踊りあり、プレゼントありと、とても楽しい催しとなりました。以下は参加した利用者さんからの声です。

- 犬のぬいぐるみのプレゼントがあたって、とても嬉しかった。(I. Mさん)
- モーニング娘を歌えたので、良かったです。(I. Yさん)
- クリスマスの歌はわからなかったのでイマイチだったけど、フォークダンスは楽しかった。(I. Mさん)
- ケーキはもっと大きいのが食べたい。(O. Yさん)
- (ヘルパーさんが)初めての人だったので、ドキドキ緊張した。(K. Sさん)
- ピアノの人が、知ってる人だから楽しかった。(K. Hさん)
- 乾杯の音頭をやりました。(K. Tさん)
- サンタと写真をとれたので良かったです。(M. Kさん)

## ガイドヘルパーさんと外出

Nさんは乗り物にとても詳しく、毎月電車についての遠出をヘルパーさんと一緒に楽しんでいます。

「初めはグループで参加、最近は手続等もすっかり慣れて毎月8時間利用させていただいています。まだ親が健在の間にヘルパーさんと行動が出来るようになっておけば、親亡き後も本人の楽しみみの鉄道・文化活動に自分で余暇を組み立てていけるようになるのではないかと感じてきています。」

(Nさんお母様より)



# 千歳台だより



## “千歳台福祉園の取組について”

福祉園が創設され2年目を過ぎようとしています。今年度は28名の方々が利用しており、保護者の会の励ましの言葉を支えに日々努力する毎日です。今年度は、昨年度の活動を基に利用者の方々が自由に楽しめる運動、音楽、芸術、調理のクラブ活動の取組、千歳温水プールでの運動活動、宿泊旅行と別に年2回の所外宿泊などを実施しております。

施設の取組を広く知って頂き、障害者福祉に対する地域の理解を深める目的で園祭”秋桜祭”を地域の方々、保護者の会の協力を得て初めて開催する事もできました。この事は、一重に世田谷区関係機関のご協力の賜物と思っております。又、先日開催されました区民ふれあいフェスタ’03に日頃創作している作品を多数出展する事が出来、関係者の方々から励ましの言葉を頂きました。

今年度より新たな福祉システムが始まり、その検証が始まります。今後とも御支援をよろしくお願い申し上げます。

施設長 小島 幸久

## 世田谷区立千歳台福祉園施設の概要

設置者：世田谷区

運営：社会福祉法人せたがや檜の木会

所在地：〒157-0071 世田谷区千歳台3-31-9  
TEL:03-3789-9801  
FAX:03-3789-9802

種別：知的障害者更生施設（通所）

開設：平成14年4月

定員：40名

建物：鉄筋コンクリート造3階建  
（1階地区会館併設）  
敷地面積 1165.64㎡  
延床面積 1214.69㎡

千歳台福祉園が開所してから早いもので2年が過ぎようとしています。1年目は定員40名の所20名のスタートでした。施設や職員と利用者の方々も一新され、期待する反面不安を感じていたのも事実です。しかし日々の連絡帳を通し子供の様子を事細かに報告して下さり、非常に有意義なコミュニケーションを図る事が出来ました。2年目は利用者も8名増えより充実した園生活を過ごせるように、保護者の会では園との話し合いを重ね理髪サービスが開始。9月には地域の方々との交流を深めようと初めて園祭を開催。保護者全員、檜の木会会員、近隣の方々も多数参加頂き親睦も深まり大成功となりました。

また来年度より念願の所内宿泊訓練が始まります。毎日利用者の方々と懸命に向き合い意欲的に活動して下さる若い職員の方にも期待しています。これからも子供達が地域で安心して生活出来る様、通所施設が拠点となる事を切に願ってやみません。

保護者の会代表 阿部 春子



# 下馬だより



## 「楽しさは味の素」

“笑い声わく工房や残業日”

「下馬には、気がつけばそこに誰かの笑顔があります。不思議な力をもらえます。」これは一年を振り返っての職員の感想です。また「残業していく、と朝から張り切ってワクワクしている。ここが下馬の利用者さんの魅力」と受け止める職員がいます。

楽しく働く事、楽しさを第一にしてきました。楽しければ嬉しくて、「もう一度」と思えるし、晴れ晴れとしてくる。そして、自分の事が好きになれると思うから。彼らの行動は私たちの思いの映し返し。ならば、自ら楽しみながら、「こうやると楽しいでしょ。あなたらしく、私らしくやれば楽しくなるよ。」と楽しさを注ぎ込んできました。

“父がいて母が動いて立ち上げし我らがせたがや櫛の木会”ですから、味のある人生を支えるべく、応援して下さる皆さんの期待に応えていく現場でありたいと思います。

施設長 村瀬 精二

## 世田谷区立下馬福祉工房施設の概要

設置者：世田谷区

運営：社会福祉法人せたがや櫛の木会

所在地：〒154-0002 世田谷区下馬2-20-14  
TEL:03-5712-5103  
FAX:03-3410-3812

種別：知的障害者授産施設（通所）

開設：平成14年4月

定員：30名

建物：鉄筋コンクリート造 3階建の2階  
敷地面積 2190.73㎡  
延床面積 634.92㎡

親も子も不安と期待で入所した下馬福祉工房、広々とした作業場、食堂、更衣室等伸び伸びと毎日を送ることが出来、職員の方々も利用者ひとり一人の心を受け止めて下さり、個性を大切にし可能性を引き出す対応は何よりも喜ばしいことです。

二年目に入り人数も増え、少々狭さも感じますが、子供たちは皆自分たちの役割を一生懸命頑張り、クッキー作り、袋詰め、ネジ、ビデオテープ等の仕事に励み、来所される実習生、研修生、ボランティアさんとの関わりもお話のできる人は会話で、その他の人は手紙や絵で、それぞれの得意分野で上手に接しているようです。我子も似顔絵を描いてプレゼントし、コミュニケーションを取っている様です。

工房での頑張りとは別の面で自我が芽生え、戸惑うこともありますが、成長過程と受け止めこれから先も職員の方々とは協力し子供たちが笑顔で充実した日々を過ごすことができるようにしていきたいと思えます。

田中 初子 保護者の会代表



## もっと充実した支援を目指して

千歳台福祉園も、もうすぐ2年目が終わろうとしています。利用者さんも1年目の20名から2年目には28名と人数が増え、多目的室も狭く感じるほどになってきました。

今回は各グループリーダーに昨年度と比べて変わった点について話を聞きました。Aグループは「作業時間を増やしました。利用者さんも集中して取り組める時間が長くなってきました」。次にBグループは「人数が増え職員態勢がきつくなった反面、一人ひとりとの関係が出来てきて利用者さんから『喜怒哀楽』を表出できるようになってきました」。最後にCグループです。「作業時間も織物等をやってもらただけでしたがボランティアさんの協力を得て作品づくりが出来る様になりました。個別支援を充実させ1対1での余暇活動に行ける様になりました」との事でした。

当施設が開所されてまだ2年、もっと充実した支援が出来る様に努力を重ねて行きたいです。

千歳台福祉園 作業指導員 東原 平

## 『笑顔』を求めて三年目

下馬福祉工房の誕生と共に始まった私の第二の人生？も早いもので、二年目の終盤に差し掛かっています。この歳月を通して、以前に携わっていた仕事との大きな違いを感じています。営業⇒交渉⇒契約⇒納品⇒代金回収と言う1つの流れで完結する仕事に対して、ひとりひとりの人として、全く異なった関わり方が必要とされる、「これが正解」という答えのない、奥の深い仕事なのだなぁとつくづく感じています。毎日毎日手紙を書いてきてくれる方、誰にでも敬礼ひとつで笑顔をもたらしてくれる方、毎日皆の前に出てモノマネをして笑わせてくれる方…様々ですが、受け入れる事で安心感を産み、人と人の関係が芽生え、徐々に本音を出してきてくれている実感があります。

『笑顔』を積み重ねていく事で幸せになれると信じて皆さんと共に成長していきたいと思っています。

下馬福祉工房 作業指導員 吉田 誠

## 「いつもありがとうございます！」

「ヘルパーステーション榿の木」では、主に知的障害を持つ成人の方、児童の方へガイドヘルプ（外出援助）、ホームヘルプ(家の中での援助)のサービスを提供しています。

「ガイドヘルプ」は、利用者の皆さんが主に土日の余暇を使ってヘルパーと過ごしています。その内容もバラエティーに富み、電車の好きな人は山手線を一周したり、映画の好きな人は、見たい映画を毎月選んで利用したり…。利用する方がサービスを上手に使いこなしているな、と実感する今日この頃です。

「ホームヘルプ」は、昨年の秋から少しずつ利用が増えています。家の中にヘルパーが入って食事や入浴、見守り等の援助を行うわけですから、利用される方も不安が大きいと思います。

サービスを提供する側からすると、少しでも気持ちよくサービスを利用できるように、利用者さんがどんな援助を求めているのか、を事前に職員が十分お聞きした上でヘルパーを紹介し、利用につなげる丁寧なコーディネートが強く求められています。またヘルパーを紹介した後のフォローも大切です。ガイドヘルプ・ホームヘルプを利用できるようにになれば、生活の幅もグッと広がると思います。

「使ってみたいけど、どうしたらいいかわからない」そんな方は、まずはお気軽にご一報下さい。

ヘルパーステーション榿の木

サービス提供責任者 黒田 正実

## 3年間を振り返って

知的障害者ガイドヘルパーの仕事をして3年になります。おかげさまで、多くの利用者さんとそのご家族の方々と出会い、たくさん事を学ばせて頂きました。これまでを振り返ってみて思う事は、何よりも大切なのは「安全に外出し、外出目的を達成し、次回も行ってみよう」と思うような半日にする事ではないかと思っています。ヘルパーとしての創意工夫はまだ未熟ですが、利用者さんと楽しい過ごし方を勉強して行こうと思います。

ヘルパーステーション榿の木

ガイドヘルパー 市原 春巳



■ 貸借対照表 平成15年3月31日現在

《社会福祉事業会計》

資産の部		負債の部	
流動資産	18,976,618	流動負債	17,246,927
現金	168,499	未払金	15,374,000
預金	16,416,904	預り金	1,467,927
未収金	1,986,215	仮受金	405,000
立替金	405,000		
固定資産	59,816,647	固定負債	2,480,040
基本財産(固定資産)	55,761,946	退職給与引当金	2,480,040
建物	9,530,196		
土地	36,231,750		
基本財産特定預金	10,000,000		
その他の固定資産	4,054,701	負債の部合計	19,726,967
車輛運搬具	695,206	純資産の部	
器具及び備品	803,015	基本金	55,841,950
権利	76,440	基本金	55,841,950
その他の固定資産	2,480,040	次期繰越活動収支差額	3,224,348
		次期繰越活動収支差額	3,224,348
		(うち当期活動収支差額)	-78,876
		純資産の部合計	59,066,298
資産の部合計	78,793,265	負債及び純資産の部合計	78,793,265

《授産事業会計》

資産の部		負債の部	
流動資産	9,562,068	流動負債	9,079,102
現金	88,801	買掛金	134,485
預金	9,312,903	未払金	8,944,617
売掛金	6,300		
未収金	154,064		
固定資産	714,720	固定負債	714,720
		退職給与引当金	714,720
その他の固定資産	714,720	負債の部合計	9,793,822
その他の固定資産	714,720	純資産の部	
		次期繰越活動収支差額	482,966
		次期繰越活動収支差額	482,966
		(うち当期活動収支差額)	482,966
		純資産の部合計	482,966
資産の部合計	10,276,788	負債及び純資産の部合計	10,276,788

■ 資金収支計算書 自平成14年4月1日 至 平成15年3月31日

《社会福祉事業会計》

勘定科目		合計	法人本部会計	ガイドヘルパー派遣事業	世田谷区立千歳台福祉園
經常活動による収支	収入				
	その他の事業収入	96,324,115		21,284,760	75,039,355
	寄付金収入	1,704,637	1,704,637		
	雑収入	463,883	463,883		
	受取利息配当金収入	45	45		
	經常収入計	98,492,680	2,168,565	21,284,760	75,039,355
支出	人件費支出	78,189,285		16,451,561	61,737,724
	事務費支出	16,815,548	2,450,915	4,694,179	9,670,454
	事業費支出	3,631,177			3,631,177
	經常支出計	98,636,010	2,450,915	21,145,740	75,039,355
經常活動資金収支差額	-143,330	-282,350	139,020	0	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等寄付金収入	46,528,020	46,528,020		
	施設整備等収入計	46,528,020	46,528,020		
	支出				
固定資産取得支出	47,564,080	47,425,060	139,020		
施設整備等支出計	47,564,080	47,425,060	139,020		
施設整備等資金収支差額	-1,036,060	-897,040	-139,020	0	
当期資金収支差額合計	-1,179,390	-1,179,390	0	0	

前期末支払資金残高	2,389,081	2,389,081	0	0
当期末支払資金残高	1,209,691	1,209,691	0	0

《授産事業会計》

勘定科目		世田谷区立下馬福祉工房
授産事業活動による収支	収入	
	授産事業収入	4,350,374
	授産事業収入計	4,350,374
	支出	
授産事業支出	3,867,408	
授産事業支出計	3,867,408	
授産事業活動資金収支差額	482,966	
福祉事業活動による収支	収入	
	委託費収入	45,201,225
	福祉事業収入計	45,201,225
	支出	
人件費支出	38,570,101	
事務費支出	3,246,476	
事業費支出	3,384,648	
福祉事業支出計	45,201,225	
福祉事業活動資金収支差額	0	
当期資金収支差額合計	482,966	

前期末支払資金残高	0
当期末支払資金残高	482,966

※詳しい決算書類は常時法人事務所に掲示してあります。





### \* 理事会・評議員会の開催

- 平成13年度理事会 2回
- ” 評議員会 2回
- 平成14年度理事会 4回
- ” 評議員会 2回

### \* 法人設立記念祝賀パーティ

平成14年6月20日

### \* 故脇坂喜代子様より遺贈

平成15年1月20日、世田谷区代田1-29-5所在の土地・建物

### \* 事務所移転

平成15年3月、世田谷区世田谷4-14-4から上記へ事務所移転

平成15年4月、「ヘルパーステーション 榿の木」開設

### \* 寄贈 感謝しています

- ① 平成14年4月「下馬福祉工房」へ(株)世田谷サービス公社様より車輛1台
- ② 平成14年度「千歳台福祉園」へ世田谷区赤十字奉仕団・船橋出張所分団様より電動ミシン
- ③ 平成14年度「千歳台福祉園」へ日大櫻丘高校様より車椅子2台他
- ④ 平成14年度「千歳台福祉園」へ有賀秋子様より加湿器他
- ⑤ 平成15年5月 九段高校水泳部「かつおの会」様より本部へ会議用テーブル
- ⑥ 平成15年9月「ヘルパーステーション 榿の木」へ財団法人郵政互助会東京地方本部様より車輛1台
- ⑦ 平成15年度「千歳台福祉園」へ日大櫻丘高校様よりおりひめ手織り機他

### \* 設立以後現在に至るまで、次の方々に ご協力いただきました

世田谷区手をつなぐ親の会、江東区手をつなぐ親の会、阿部春子、飯田雅子、池田瑞枝、上原明子、上原園子、内田修、太田千香子、大塚直美、押田閑子、加治木博子、小島幸久、小山伊松、斉田守男、鈴木昭雄、竹内秀雄、中田みどり、中村友子、藤井章子、村瀬精二、吉原節子  
(敬称略)

### 後援会「かしの木 友の会」

この度、社会福祉法人せたがや榿の木会を支えるための後援会を平成16年4月1日を目途に発足させる予定です。

社会福祉事業の社会的貢献度をご理解いただき、ひとりでも多くの方に後援会へのご加入をお願いしたいと思います。ご協力よろしく申し上げます。

発起人代表 小林 良廣

### ボランティアさん募集しています。お電話ください。

- 千歳台福祉園 ☎ 3789-9801
- 下馬福祉工房 ☎ 5712-5103

### ヘルパー募集

ヘルパーステーション榿の木  
☎ 5787-4050

必要な資格は次の通りです。

- \* ホームヘルプ/ヘルパー2級・3級
- \* ガイドヘルプ/新しく始めたい方は榿の木会主催の移動介護従業者養成研修を受講なされば、有資格者となれます。  
第1回研修/2月21~22日

**かしの木** 創刊号 2004.1.1 発行

発行所：社会福祉法人 せたがや榿の木会  
編集委員：伊能亮、上原明子、藤井章子、吉田快永